

古本尚文, 亀井哲也, 二谷立介, 瀬戸 光, 柿下正雄, 羽田陸郎, 阿部要一, 伊藤 博, 藤巻雅夫: 高線量率密封小線源による胆管癌の治療経験. 第39回北陸医学会総会放射線科・核医学科分科会, 1985, 9, 福井.

8) 羽田陸郎, 柿下正雄, 井本良勝: 富山県の一施設における10年間の胃集検実施成績. 第23回日本消化器集団検診学会秋季大会, 1985, 10, 松江.

薬 劑 部

教授	堀 越	勇
助教授	上 野	雅 晴
助手	足 立	伊佐雄
副部長	中 川	輝 昭
薬剤師	加 野	軒 作
"	松 原	利 行
"	櫛 本	紀 夫
"	鳥居塚	和 生
"	坂 口	一 夫
"	平 手	純 司
"	足 立	博 一
"	石 塚	安 治
"	金 本	郁 男
"	吉 松	清 信
"	三 村	泰 彦
"	黒 崎	俊 美
"	高 山	みどり
技 官	安 井	智 美
"	足 立	晶 子
事務	谷 内	久美枝

◆ 著 書

1) 堀越 勇 監訳, 富山医科薬科大学附属病院薬剤部一同 訳, 「クリニカルファーマシー実務指針」, 米国病院薬剤師会編 Basic Skills in Clinical Pharmacy Practice. 薬事日報社, 1985.

◆ 原 著

1) Lu W., Adachi I., Kano K., Yasuta A., Toriizuka K., Ueno M. and Horikoshi I.: Platelet Aggregation Potentiators from Cho-Rei. Chem. Pharm. Bull. **33**: 5083—5087, 1985.

2) Hirate J., Horikoshi I., Watanabe J. and Ozeki S.: Effect of Hypothermia on the Disposition of Thiourea in Mice. Chem. Pharm. Bull. **33**: 873—877, 1985.

3) Hirate J., Horikoshi I., Watanabe J. and

Ozeki S.: Inter-Strain Difference of Exogenous Creatinine Disposition in Rat and Mice. Chem. Pharm. Bull. **33**: 3522—3526, 1985.

4) Hirate J., Horikoshi I., Watanabe J., Hori K. and Ozeki S.: The Effect of Sacrificing Method on the Tissue Concentration of Exogenous Creatinine in Rats. Chem. Pharm. Bull. **33**: 5105—5107, 1985.

5) Hirate J., Horikoshi I., Watanabe J. and Ozeki S.: The Change of p-Aminohippuric acid Disposition Kinetics Accompanied by Growth in Mice. J. Pharmacobio-Dyn. **8**: 924—930, 1985.

6) Matsubara T. and Horikoshi I.: Cholinesterase-like Chemical Hydrolysis of Acetylcholine or Butylthiocholine by 2-PAM. Jap. J. Pharmacol. **39**: Suppl. 336, 1985.

7) Hirate J., Horikoshi I., Watanabe J., Tadano K., Yamato C. and Fujita T.: Disposition of Menaquinone-4 following Intravenous and Oral Administration to Rats. Pharmacometrics **29**: 775—781, 1985.

8) Hirate J. and Horikoshi I.: The Fate of p-Aminohippuric Acid Administered orally to Mice. YAKUZAIGAKU **45**: 332—334, 1985.

9) Kobashi K., Sakaguchi K., Takebe S. and Hosaka K.: A Colorimetric Method for the Determination of Hydroxamic Acid by Iodine Oxidation. Analytical Biochemistry **146**: 7—12, 1985.

10) Kamo N., Hazemoto N., Kobatake Y. and Mukohata Y.: Light and Dark Adaptation of Halorhodopsin. Arch. Biochem. Biophys. **238**: 90—96, 1985.

11) 金本郁男, 石塚安治, 吉松清信, 平手純司, 堀越 勇: エミット法による血清中の低濃度フェニトインの測定. 病院薬学 **11**: 236—239, 1985.

12) 加野軒作, 金本郁男, 中川輝昭, 平手純司, 櫛本紀夫, 松原利行, 足立博一, 石塚安治, 三杉泰彦, 足立伊左雄, 堀越 勇: Ketoprofenを含む硬質坐剤とゼラチンカプセル坐剤の薬剤学的研究. 薬理と治療 **13**: 5795—5800, 1985.

13) 鳥居塚和生, 寺沢捷年, 本間精一, 足立伊左雄, 中川輝昭, 堀越 勇: 桂枝茯苓丸の製剤学的検討. 日本東洋医学雑誌, **35**: 185—189, 1985.

14) 加野軒作, 足立晶子, 金本郁男, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 和漢方剤の抗炎症効果 (II) 桂枝加朮附湯のアラキドン酸代謝におよぼす影響.

和漢医薬学会誌 2:419-423, 1985.

15) Terasawa T., Toriizuka K., Bandou M., Imadaya A. and Tosa H.: Effects of Medical Plants on the Platelet Arachidonic Acid. WAKANYAKU 2:310-316, 1985.

◆ 学会報告

1) 足立伊佐雄, 堀越 勇: 和漢方剤構成生薬の前剤液に含まれるマクロファージ procoagulant activity 増強因子について. 第1回富山和漢薬懇話会, 1984, 11, 宇奈月.

2) 松原利行, 堀越 勇: 2-PAM によるアセチルコリンまたはブチルチオコリンのコリンエステラーゼ様化学的加水分解. 第58回日本薬理学会総会, 1985, 3, 東京.

3) 足立伊佐雄, 大橋一満, 足立博一, 上野雅晴, 堀越 勇: ヘパリンにより惹起されたリンパ球よりの核酸漏出について. 日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢.

4) 盧 焯, 足立伊佐雄, 金本郁男, 上野雅晴, 堀越 勇: 麻黄主成分であるエフェドリンの体内動態に及ぼす辛蕒の併用効果. 日本薬学会第105名会, 1985, 4, 金沢.

5) 小泉圭之, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 経口投与ヘパリンのラット消化管からの吸収及びその分子量分布. 日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢.

6) 上野雅晴, 足立伊佐雄, 田中範久, 堀越 勇: 数分以内でルーチン的に一枚膜リポソームを調製する方法の開発. 日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢.

7) 金本郁男, 平手純司, 堀越 勇, 片山和憲, 寺沢捷年: 西洋薬の体内動態に及ぼす和漢薬の影響一家兎におけるアンチピリンと柴胡桂皮湯の併用について. 日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢.

8) 平手純司, 金本郁男, 堀越 勇, 長瀬すみ: 無アルブミンラットにおける薬物の生体内挙動. 日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢.

9) 加野軒作, 安田晶子, 金本郁男, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 和漢方剤の抗炎症効果II 桂枝加朮附湯のアラキドン酸代謝に及ぼす影響. 日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢.

10) Ueno M., Adachi I., Koizumi T., Hirate J. and Horikoshi I.: Intestinal Absorption of Heparin. Xth International Congress on Thrombosis and Haemostasis, 1985, 7, San Diego.

11) Adachi I., Kusunoki I., Nakagawa T., Ueno M. and Horikoshi I.: DIC-Preventing

Potency of 2-Halogen Substituted CAMP. Xth International Congress on Thrombosis and Haemostasis, 1985, 7, San Diego.

12) Hirate J., Kanamoto I., Horikoshi I. and Nagase S.: Dispositions of Drugs in Analbminemic Rats. 第3回日米生物薬剤学シンポジウム, 1985, 7, 京都.

13) 足立伊佐雄, 古橋和也, 上野雅晴, 堀越 勇: 血小板由来凝固系プロテアーゼ類似酵素について. 第58回日本生化学会, 1985, 9, 仙台.

14) 坂東みゆ紀, 寺沢捷年, 土佐寛順, 金岡又雄, 平手純司: グリチルレチン酸の体内動態に関する研究II, ラットにおける体内動態. 第2回和漢医薬学会学術総会, 1985, 9, 京都.

15) 加野軒作, 安田晶子, 金本郁男, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 和漢方剤の抗炎症効果III, 桂枝加朮附湯のアラキドン酸代謝阻害効果による方剤と市販エキス剤の比較, 1985, 9, 京都.

16) 上野雅晴, 田中範久, 足立伊佐雄, 堀越 勇: リポソームのサイズを制御する因子. 第38回コロイドおよび界面化学討論会, 1985, 10, 長崎.

17) 松原利行, 開 繁義, 荻野久美子, 堀越 勇: 塩酸ベクノロール点眼薬の家兎房水中アスコルビン酸濃度に対する影響. 日本薬理学会北部会, 1985, 10, 仙台.

18) 上野雅晴, 足立伊佐雄, 小泉圭之, 佐藤 賢, 堀越 勇: ヘパリンの消化管吸収. 第8回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1985, 11, 岡山.

19) 中川輝昭, 金本郁男, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年: 漢方処方監査へのパソコンの利用. 第5回医療情報学連合大会, 1985, 11, 東京.

◆ その他

1) 堀越 勇: 漢方エキス顆粒剤合方の問題点. 日本医事新報 3158:149-141, 1984.

2) 堀越 勇: 漢方製剤の品質について. 診療手帖 89:44-47, 1985.

3) 堀越 勇, 松原利行: 特集「診断・治療の進歩と新しい薬剤, 抗うつ剤」. 医薬ジャーナル 21:101-106, 1985.

4) 堀越 勇: 猪苓の血小板凝集増強活性成分について. 和漢薬・バイオテクノロジー委託研究(昭和59年度)研究成果報告書 14-33, 1985.

5) 足立伊佐雄, 堀越 勇: 和漢方剤構成生薬の煎剤液に含まれるマクロファージ procoagulant activity 増強因子について. Therapeutic Research 2:1084-1091, 1985.

6) 堀越 勇, 上野雅晴, 足立伊左雄, 中川輝昭,

鳥居塚和生，寺沢捷年：製剤学から見た漢方剤型。
和漢医薬学会誌 2：101—105，1985。

7) 鳥居塚和生，寺沢捷年，川尻ゆかり，今田屋章，三瀆患道：血小板アラキドン酸代謝におよぼす和漢薬の効果—血小板凝集能とMDA値の変動—。
和漢医薬学会誌 2：236—237，1985。

8) 坂東みゆ紀，寺沢捷年，金岡又雄，矢野三郎，加藤弘己，平手純司，堀越 勇：グリチルレチン酸の体内動態に関する研究。和漢医薬学会誌 2：264—265，1985。

9) 薬剤部編集「調剤内規」第3版。1985。

10) 薬剤部編集「和漢薬マニュアル」，1985。